

特定非営利活動法人静岡情報産業協会
2021 年度臨時総会議事録

- 1 開催日時 2021年8月16日 9時から8月25日12時まで
- 2 場所 メールおよび郵送による書面表決
- 3 会員総数 66人
- 4 出席正会員数 66人（書面表決者数）
- 5 審議事項
第1号議案 2020年度収支決算報告修正案並びに予算修正案承認の件承認の件
- 6 議事の経過の概要及び議決の結果
議長として久保田光二が、議事録署名人として村松克己及び漆畑晃司が選任された。

第1号議案 2020年度 収支決算報告修正案並びに予算修正案承認の件承認の件

議長より、2020年度収支決算報告修正案、2020年度末貸借対照表と財産目録および2021年度予算修正案を提示するとともに監査結果が正確妥当であることの説明が書面に付された。以上の修正案に対して反対意見の表明の期限までに全員異議なく承認された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2021年8月26日

議長

久保田光二 

議事録署名人

村松克己 

議事録署名人

漆畑晃司 

令和3年度
静岡市公衆無線LAN事業協議会
第1回 担当者会議 議事録

- 日時 : 令和3年8月 19 日(木) 午前 10 時 00 分から
- 場所 : 静岡市役所新館 11 階 第2OA ルーム
- 出席者: 非営利活動法人 静岡情報産業協会 桜井様
公益社団法人 するが企画観光局 浦田様、奥村様
静岡市役所 デジタル化推進課 新庄、藁科、清

議題項目

1. 「Wi-Fi paradise」の今後の展開について

(議論内容)

- ・様々な社会情勢の中で Wi-Fi paradise の存在意義が問われている。
- ・現状の AP 数が把握できていないため、今後の事業展開を考えることは難しいと考える。

(今後の予定)

- ・協力整備事業者へ AP の把握がどこまでできるのか問合せる。

2. 広報活動について

(議論内容)

- ・積極的に AP を増やす必要はないと考えるため、広報の必要はない。
- ・広報費静岡市負担費用 7 万円は、議題項目1の現状把握に使うべきである。

(今後の予定)

- ・令和3年度は広報活動は行わない。

3. 整備協力事業者の押印廃止について

(議論内容)

- ・廃止でよい。

(今後の予定)

- ・今後協力整備事業者申請書の押印の文言を廃止する。

4. 協議会決裁の押印廃止について

(議論内容)

- ・静岡市電子申請システムにて承認の旨回答するようにするのがよい。

(今後の予定)

- ・静岡市にて電子申請の準備ができ次第、協議会決裁の承認は電子申請にて行う。

5. 作業部会、協議会会議の開催方法について

(議論内容)

- メールでの書面開催でもよいが、会議の性質上必要があれば Web 会議を開催すべき。

(今後の予定)

- その都度事務局にて開催方法を検討する。

その他

各団体から

- 特になし。

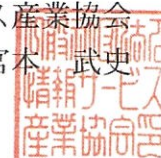
事務局より

- 担当者会議後、作業部会、協議会会議を開催するが、その際は各団体の担当者宛てに連絡をしますのでご了承下さい。

情産 R3-152
令和3年8月18日

NPO 法人静岡情報産業協会
理事長 久保田 光二 殿

一般社団法人情報サービス産業協会
副会長・専務理事 宮本 武史



2021年度地域高度化事業の交付金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会の諸活動に格別なご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

当協会では、地域における情報サービス産業の振興及びIT利活用を通じた地域経済の活性化のため、各地域情報サービス産業関係団体が行う活動に対し、事業費の一部を助成しております。

貴協会への交付限度額を、下記のとおり決定しました。今後の手続等については、別紙をご確認下さい。

敬具

記

地域高度化事業：技術研修（オブジェクト指向設計講座）

交付金限度額：300,000円

以上

NPO 法人静岡情報産業協会

各種イベント開催延期・中止の判断基準(案)

新型ウィルス感染症などの拡大により「まん延防止等重点措置」あるいは「緊急事態宣言」が発出されたとき、SIIA が主催する各種イベント(各種会合、各種講座、研修およびセミナー等)の開催を延期或いは中止について直ちに判断を下すための「判断基準」を設けて万々に備える。

1. イベントの実施制限

(1) イベントの実施制限を判断する根拠として、静岡県が定める「6段階警戒レベル」および「レベルごとの行動制限」を適用する。

(2) レベルごとの対応(静岡県「6段階警戒レベル」と「レベルごとの行動制限」による)

① レベル2(感染源定期):「注意」

「3密」の回避を含む新しい生活様式の徹底

② レベル3(感染移行期):「注意」～「警戒」

各施設で感染防止対策を徹底、感染リスクの高い行為を回避、必要に応じて訪問自粛などの行動制限

③ レベル4(感染まん延前期):「警戒」

各施設で感染防止対策を徹底、感染リスクの高い行為を回避、必要に応じて訪問自粛などの行動制限

④ レベル5(感染まん延中期):「特別警戒」

地域特性を考慮してレベル4を維持(場合により、レベル6を適用)

⑤ レベル6(感染まん延後期):「厳重警戒」

県内の感染状況を踏まえた不要不急の外出自粛や営業時間短縮の要請を含む必要な行動制限など

(3) レベルごとの SIIA における各種イベントの制限に向けた判断

① レベル2以上(1週間新規感染者数70名以上): SIIA 主催の会食・懇親会は全て禁止とする。

② レベル3:「会議実施時のガイドライン」に従い、リアル参加者の定員を100名以内とする。

③ レベル4: 各種会議を含むすべてのイベントを極力「オンライン」開催とする

④ レベル5～6: 各種会議を含むすべてのイベントを「オンライン」開催とし、「リアル開催」の各種会議およびイベント開催は延期または中止とする。

(4) 対応策の継続期間

各レベルにおける対応策は、各レベルの基準に達した日の翌日から10日間継続する(その期間で収束しないあるいは高レベルに移行した場合は、更に10日間延長する)。

(5) 「会議実施時のガイドライン」

- ① 会場キャパシティの50%以下の参加者とする。
- ② 各席の間隔を1席分程度離して配置する。
- ③ 出席者にマスク着用・手指の消毒を要請する。
- ④ 十分な換気を行う(出入口、窓などの開放および換気装置の使用)
- ⑤ 会議は極力短時間とする。
- ⑥ マイク使用時は使用ごとにマイクを消毒する。
- ⑦ 咳・発熱あるいは風邪の症状の有無の確認(体温が37.5℃以上の場合是不参加を要請する)
- ⑧ 可能な限り参加者数を制限し、オンライン開催あるいはハイブリッド開催などを採用する。

(6) 延期或いは中止の決定部署

ここに定める「判断基準」に従い、各種イベントの開催延期或いは中止は正副理事長と事務局の協議によって決定する。

2021年9月28日
理事会承認

令和3年9月20日

静岡市長 田辺 信宏様

静岡市葵区羽鳥7丁目6番37号
特別非営利活動法人
静岡情報産業協会
理事長 久保田 光二

補助金交付要望書

令和4年度に計画しております次の事業について、補助金を交付していただきたく 要望いたします。

記

- ・ 事業名 静岡市情報化推進活動事業費補助金
- ・ 事業期間 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
- ・ 要望額 4,050,000円
- ・ 添付書類
 - ・ 令和4年度事業計画書(案)
 - ・ 令和4年度収支予算書(案)
 - ・ 令和2年度事業計画及び収支予算書
 - ・ 平成2年度事業報告及び収支決算書の写し
 - ・ その他資料(令和2年度実施事業実績一覧表)
- ・ 担当者 所属部課名：事務局
氏名： 桜井 俊秀 電話：054(288)5293

NPO 法人静岡情報産業協会令和4年度事業計画(案)

1. 事業計画の概要

協会は平成28年度より、組織活性化委員会を中心に事業活動の見直しを図り、協会の期待に応えるための活動形態を「人材育成・教育研修」、「ビジネス・マッチング」、「人材開拓推進」のそれぞれの事業の展開を担う部会として組織し、各事業部会が主体となって会員の要望を汲み上げてきめ細かく事業を展開してきた。

令和元年度には、NPO法人化以前から続いていた事務局体制も一新し、令和2年度は任意団体として創立以来30周年を迎え、今後創始の精神をベースに、「情報の産業化・産業の情報化」に資する事業展開を進めた。また令和3年度末には、三部会並びに理事会の参加も得て、今後3年から5年後の当協会のあるべき姿を模索し、その結果を「SIIAアクションプラン2021宣言」にまとめあげた。

そこで、本年度「人材育成・教育研修部会」では昨年度に引き続き、市場や技術の動向を踏まえ会員のために役立つ情報と学習機会を提供することに主眼を置き、この部会が有する特性を活かし、デジタルトランスフォーメーション(DX)時代における新たな技術や今後のICT業界の方向性を示唆する講師陣を招聘してセミナー、研修会を開催し、会員にとって有用な最新情報の提供や技術者の技術力向上に役立てる。

また、当協会の特色の一つでもある、地元の大学、専門学校などとの教育機関と連携を強め、本年度も地域や業界が抱える課題の解決や、地域全体の教育/研究力を高めることを目的に会員企業の技術者育成研修を継続する。

この技術者育成研修事業には、一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)の地域連携事業に本年度も応募して補助金を得ることで、地域ビジネス活性化に資する活動を活発化する。

さらに、同部会事業として定着をしていた海外視察研修事業については、コロナ感染症の影響を受け過去2年にわたり断念する結果となり、昨年度から国内に視野を転じることにした。本年度はその方針を受け継ぎ、先進事例など学ぶべき候補地域も視野に入れつつ、ワーケーションなど時代の先端に行く事例なども対象にして最終的な判断を行う。

次に、「ビジネス・マッチング部会」では、会員相互及び地域との交流を深め新たなビジネスの機会創生を図る機会を増やすことを目的に、会員企業が保有する自社の得意技術やサービスなどを発表し、そこから相互交流を発生させる試みを一昨年度から始めたが、残念ながらコロナ禍によりリアルな場所での交流会の創設が困難となった。

そこで本年度は、対面での会員企業の「わが社の一押し」をテーマにした「会員交流会」の開催と共に、各社の特長や特性を訴求することを目的にSIIAのウェブサイト上に各社のコンテンツを公開することを計画している。公開後に会員交流会を通じて、会員同士の知り合う機会を深め、そこから新たなビジネスチャンスが創出する

ことを狙いとする。

また、静岡商工会議所との意見交流に端を発した「小規模事業者向け業務アプリ作成」に関する研究会「Kintone Café」も実績を積み重ねてきた。そこで今年度は、協会会員が保有する技術やノウハウを提供し、小規模事業者が抱える課題解決策に対して当協会独自の具体的な提案できるような体制づくりを強化していく。

一方、ICT 業界においても慢性的な人材不足の問題を抱え、その解決のための事業を中心に活動している「人材開拓推進部会」では、本年度も継続して同様のテーマにより地元の ICT 企業の人材確保をテーマに活動する。

一昨年度からのコロナ禍による影響を受けて、これまで積み上げてきたインターンシップ事業のノウハウを活かし、リモート会議方式も視野に入れ、ICT 企業の魅力と仕事のやりがいを知る機会を提供する企画を実施する。

また、昨年度他地域の同業者団体との交流によりヒントを得た、会員企業の技術者あるいは経営者などを講師とした「ICT 講座」の継続的開催を人材育成部会とも連携して実現を目指す。

さらに、例年通りの地域連携事業に参加協力に加え、昨年度立ち上げを目指した静岡市（デジタル推進課）との協働事業として、「スマートシティ」の研究等、地域のニーズ調査から SIIA 会員の参加による活動を目指す。

2. 事業の骨子

以上を踏まえ、当協会今期事業を次のように計画する。

(1) 人材育成・教育研修部会の事業

- ① 通常総会開催時に講師を招き講演会を開催する。
 - ・実施時期：令和4年5月
 - ・開催場所：静岡商工会議所5階ホール
 - ・経費予算：20万円

- ② 国内での体験や視察ツアーを実施して ICT 業界の最先端情報を収集する。
 - ・実施時期：令和4年6月～令和5年2月
 - ・開催場所：未定
 - ・実施内容：ワーケーションを体験し、新たな働き方を知り考える機会を作る
 - ・収入予算：120万円
 - ・経費予算：130万円

- ③ 地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業を、静岡大学の協力を受けて実施する。
 - ・実施時期：令和4年8月～9月
 - ・予定人数：20人

- ・開催場所：静岡大学
 - ・収入予算：60 万円
 - ・経費予算：110 万円
- ④ これからの IT 技術者に必要なスキルをピックアップし、ICT 最新技術向けのビジネス講座を実施する。
- ・実施時期：令和 4 年 10 月～11 月
 - ・開催場所：静岡市産学交流センター等（未定）
 - ・収入予算：40 万円
 - ・経費予算：55 万円
- ⑤ 会員からのニーズに応じたセミナーを実施する（2 回）。
- ・実施時期：令和 4 年 10 月、令和 5 年 2 月
 - ・開催場所：オンラインまたは集合方式で検討
 - ・経費予算：25 万円
- ⑥ 高校生向けに ICT 講座を開催する。
- ・開催時期：令和 4 年 8 月～12 月
 - ・開催場所：未定
 - ・経費予算：20 万円

(2) ビジネス・マッチング部会の事業

- ① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用し、会員企業交流セミナー及び会員交流会を開催
- ・開催時期：令和 4 年 7 月～令和 5 年 2 月の間で 4 回
 - ・開催場所：静岡商工会議所会議室
 - ・収入予算：10 万円
 - ・経費予算：20 万円
- ② 会員企業紹介コンテンツの制作およびウェブサイト上への公開
- ・SIIA としてのウェブサイト公開用のコンテンツ規格（テンプレート）の作成
 - ・各社から提供されたコンテンツを SIIA ウェブサイトの特設サイトに公開
 - ・会員企業紹介コンテンツを活用した会員交流会などを開催
 - ・開催期間：令和 4 年 7 月～令和 5 年 2 月
 - ・経費予算：25 万円
- ③ 「Kintone Café」を開催し、外部講師も活用しながら、小規模事業者向けアプリ開発を試行する。

- ・実施時期：令和4年7月～令和5年2月
- ・経費予算：20万円

④小規模事業者向けDX・業務改善に関するお困りごと相談会

- ・地域のICT化に寄与するため、ICTに関する専任者がいない小規模事業者が抱える課題に対して、課題をヒアリングして具体的な解決策を提案できるような個別相談会を開催
- ・実施時期：令和4年7月～令和5年2月(月1回)
- ・経費予算：12万円

(3) 人材開拓推進部会の事業

1. ICT講座

- ①大学生等の1.2年生等向けに、IT、業界の魅力を感じてもらい且つ、資格所得を支援する講座を、年間を通して開催。
- ②静岡大学・常葉大学での開催を計画
- ③初めて行う事業なので、他産業サービス協会が開催している講座のノウハウを勉強する。
 - ・経費予算：50万円

2. インターンシップの企画・立案、実施

- ① 会員企業の合同インターンシップ制度を実施する。
- ② ICT業界では、インターンシップ受け入れも実際の現場での体験が難しいため、従来型を一新し、学生の満足度を高める。
- ③ インターンシップ制度を「採用目的主体」を改め、「学生との接点増やし、業界知識を深めさせることにより、業界全体の応募者を増加させる」ものとしていく。
- ④ 学生等への告知方法は、WEBを利用
 - ・収入予算：20万円
 - ・経費予算：70万円

- 3. 県外地域の教育機関と静岡出身学生、ICT会員の採用担当者との就職動向情報交換会を実施し、更に当協会会員の求人情報を直接発信して、翌年度の求人活動の一助とする。
 - ・経費予算：13万円

(4) 調査研究・交流促進の事業

- ① 総会時会員交流会を実施する。
 - ・開催時期：令和3年5月21日（総会・講演終了後）
 - ・開催場所：静岡商工会議所
 - ・参加人数：50人

・経費予算：10万円

② 理事交流会を実施する

・収入予算：12万円

・支出予算：12万円

③ 総会・理事会・運営委員会・WG等の会議開催費

・経費予算：20万円

⑤ 必要な情報収集にはWGメンバーを他地域視察に積極的に派遣し、助言・提言の情報量を増す。

(5) 地域連携事業

① 地域の団体・機関の実施する事業等に協力する。

i. 協会員への情報提供のため(一社)情報サービス産業協会(JISA)の入会継続

・経費予算：25万円

ii. JISA「地域連携事業」プログラムに参加する。

・収入予算：30万円

iii. 静岡商工会議所「情報文化部会」に参加協力する。

iv. 「地域企業デジタル化推進特別委員会」に参加協力する。

v. 「静岡市の公衆無線LAN事業」の作業部会、及び事業協議会に参加する形で協力・助言を継続する。

② 西部／東部ベンダー企業組織と活動を連携する。

(6) 広報事業

① 会員に対する情報提供(Web 広報、パンフレット等作製、HP・サーバー管理等)

・経費予算：65万円

NPO法人静岡情報産業協会令和4年度収支予算(案)
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人静岡情報産業協会
(単位:円)

<収入の部>

勘定科目	R4年度予算額	R3年度予算額	比較 増減	備考
会費収入	2,930,000	2,970,000	△ 40,000	ICT会員×32、一般会員×18、個人×1、無償会員×14
補助金収入	4,050,000	4,050,000	0	静岡市
事業収入	3,220,000	3,094,770	125,230	
1.教育研修事業	2,500,000	2,100,000	400,000	視察参加費、セミナー講習料 等
2.B-マッチング事業	100,000	100,000	0	交流会参加費
3.人材開拓推進	200,000	200,000	0	
4.地域連携事業	300,000	300,000	0	JISA交付金 等
5.会議交流事業	120,000	120,000	0	懇親会会費(総会、運営(委))
6.未執行予算額	0	274,770	△ 274,770	
	10,200,000	10,114,770	△ 220,000	
繰越金より	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
1.預金利息	0	0	0	
合 計	10,200,000	10,114,770	85,230	

<支出の部>

(単位:円)

勘定科目	R4年度予算額	R3年度予算額	比較 増減	備考
事業費	7,020,000	6,810,000	210,000	
1.教育研修	3,600,000	3,280,000	320,000	静大研修、海外研修、セミナー・講演 他
2.B-マッチング	770,000	700,000	70,000	ICT交流会会場設営費、アプリ作成、ウェブサイト特設
3.人材開拓推進	1,330,000	1,330,000	0	Webセミナー、インターンシップ
4.会議交流	420,000	450,000	△ 30,000	総会、理事会、運営委員会、部会 開催費
5.地域連携	250,000	400,000	△ 150,000	JISA会費
6.広報	650,000	650,000	0	協会情報内外発信費 等
管理費	3,180,000	3,304,770	△ 124,770	
1.事務委託費	2,650,000	2,640,000	10,000	人件費、法定福利費
2.旅費交通費	20,000	30,000	△ 10,000	出張費、駐車料 等
3.通信費	190,000	190,000	0	FAX代、電話代、郵送費、インターネットプロバイダー 等
4.交際費	20,000	50,000	△ 30,000	名刺広告費用、会合費、観光コンベンション 等
5.印刷費	30,000	50,000	△ 20,000	名刺、資料の印刷代
6.賃借料	0	0	0	事務局オフィス賃借料
7.水道光熱費	0	0	0	事務局電気料
8.消耗品費	20,000	20,000	0	事務用消耗品費
9.租税公課	0	6	△ 6	
10.事務用品費	20,000	100,000	△ 80,000	事務局オフィス用具費
11.宣伝広告費	30,000	30,000	0	静岡商工会議所名刺広告費
12.諸会費	12,500	12,500	0	静岡商工会議所会費
13.手数料	150,000	150,000	0	会計士費用、司法書士費用、振込手数料 他
14.予備費	37,500	32,264	5,236	
合 計	10,200,000	10,114,770	85,230	